

令和4年度決算の概要

1. 教育・研究及び医療環境の整備

(1) [教育関係]

- ① 御井学舎
情報教育センターシステム更新
- ② 医学部
看護学科新校舎建築工事
- ③ 附設高中校
附設体育館1階柔道場ほか冷暖房取り付け工事

(2) [研究関係]

- ① 研究ブランディング事業継承（がん教育出前授業）
- ② 中山陽城高畠基金の設立

(3) [医療関係]

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応
（院内感染対策および病床確保）
- ② 大学病院
医用画像 Viewer システム（PACS）更新
- ③ 医療センター
手術室医療機器の更新
（手術用无影灯の更新）

(4) [地域連携]

- ① 医学部
グラウンド整備および施設活用

2. 財務状況

【事業活動収支の状況】

事業活動収入計の623億9千1百万円から、事業活動支出計の611億4百万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、12億8千8百万円となり、予算比で11億7千9百万円の増となりました。

内訳として、経常収支差額は14億1千1百万円となり、予算比では14億1千万円の増となりました。新型コロナウイルス感染対策を継続しながら、診療体制、教育環境の整備を行いました。収入では、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金交付金が増加、支出では、教育研究経費および医療収入の増加に伴う医療経費が増加しています。

臨時的な収支を示す特別収支差額は△1億2千4百万円、収入では、施設設備の補助金の増、支出では資産処分差額の増など、予算比で3億3千万円の減となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計14億8百万円を差し引いた当年度収支差額は、1億2千1百万円の減となりました。

以上のことから、基本金組入前当年度収支差額は黒字となったものの、安定した財務基盤確立に向け、本業である教育活動収支の改善を図り、基本理念、将来構想の実現に向けて取り組んでまいります。

【資金収支の状況】

収入の部小計の1,082億3千9百万円から、支出の部小計の1,069億6千9百万円を差し引いた当年度収支差は、12億7千万円となり、予算比では18億6千万円の増となりました。

予算比の主な増減は、事業活動収支状況に加えて、収入の部では資産売却収入の増、支出の部では施設・施設関係支出が減、資産運用支出は増となりました。

以上の結果、翌年度繰越支払資金は、63億4千万円となりました。

【貸借対照表の状況】

資産の部合計は1,208億3百万円で、前年度比5億6千2百万円増加しています。一方、負債の部合計は295億3千5百万円となり前年度比7億2千5百万円減少しています。基本金と繰越収支差額を合計した純資産は912億6千8百万円となり、前年度比で令和4年度の基本金組入前当年度収支差額分の12億8千8百万円増加しています。

◎財務書類等（財産目録・貸借対照表・収支計算書・事業報告書・監査報告書）の閲覧の請求は、財務部経理課で承ります。